

# ビザなし交流通信

【発行】

(公社) 北方領土復帰期成同盟  
北方四島交流北海道推進委員会  
TEL / 011-221-3340

親近感生む交流 問題解決の鍵

【連載】北方四島交流インタビュー

「空のボトルは床に」ロシア人の風習 知っていますか？

「イショー・ハチーチェ（もっといかが）？」ロシア流のおもてなし



ビザなし交流通信の  
郵送を希望される方  
は左記QRコードから  
お申込みください。

## 親近感生む交流 問題解決の鍵



▲牧場でビザなし交流の思い出を語る稗田徹也さん（左）と妻の麗さん。  
稗田さんが指さす先には北方領土国後島の島影が浮かぶ

ロシアによるウクライナ侵略の影響などで、2020年から中断している北方四島交流事業。これまで事業を支えてきた人たちに話を聞きました。  
【第4回】

根室海峡を望む羅臼町南部のその丘は、酪農地でありながら、「北方領土」を感じる場所でもある。標高100メートルの頂から、水平線上に浮かぶ国後島の島影をはっきり確認できるからだ。

この地で乳牛を育てているのが、これまで7回ビザなし交流に参加してきた稗田徹也さん（41）。6月中旬、初夏の風が稗田さんの頬を優しくなでた。ザワザワと牧草を揺らす音は聞こえるけれど、風は目には見えない。だからこそ、稗田さんは思いを巡らせた。「この風は四島の懐かしいロシア人のもとまで届くのかな」

次ページへ

Check!

四島交流（ビザなし交流）とは、日本人と北方領土のロシア人がパスポートやビザなしで相互訪問する事業。領土問題解決の環境づくりのため1992年に始まり、これまでに646回、2万4488人の交流が行われています。

島が目の前に

千葉県出身の稗田さん。大学卒業後は東京の証券会社で働き、領土問題に関心はなかった。転職となったのは、羅臼町へ移住した2009年。妻の麗さん(46)が妊娠したのをきっかけに、家族の時間をつくろうと酪農家に転身した。

ある日、牛舎の奥に見える島が気になった。地図で調べると国後島だと分かり、衝撃を受けた。北方領土がこんなにも近いなんて。驚きは興味へと変わり、次第に町内の元島民から、四島の暮らしやソ連上陸時の苦労を何度も聞くように。稗田さんは「教科書で学

んだだけの北方領土問題が、少しずつ身近な話になっていくのは不思議な感覚だった」と語る。 天気がいい夜は、国後島の灯台に明かりがつくのが見える。人の営みがあるのが分かる光景だ。「日本人が自由に往来できない四島に、どんな人たちが暮らしているのか

熱心に語り、国後島の男性獣医は牛の治療法を説明してきた。「彼らも自分と同じようなことに悩み、喜ぶのだと分かると、領土問題を抱え立場の違い相手であっても親しみを感じられる」。そんな親近感の積み重ねが問題解決の鍵になると考えている。



▲ 択捉島の夕食会でロシア人と肩を組む稗田さん(左端) (2016年)

# 肩を組んで食事囲む日ももう一度

知りたい」。その思いは日増しに募り、移住から5年目の2013年、初めてビザなし交流に参加。以降2018年まで毎年、四島のロシア人を自宅に迎え入れてきた。

2016年には、今度は稗田さんが択捉島を訪問。ロシア人宅では、机いっぱい料理や踊りで歓迎された。「向かいあって暮らす日本人と心を通わせたいとの気持ちで伝わってきた嬉しかった」と振り返る。

が浮かぶ。「肩を組み、食事を囲んだ彼らともう一度会える日が早く来てほしい」。稗田さんは2026年がそんな年になることを願っている。(川口実南)

## 親近感を積み重ね

当初はロシア人の気質も分からず、気負いもあった。ただ、計30人近くを受け入れる中で、ロシア人が語るのはいずれも稗田さんにとって身近な話題だった。択捉島の女性は子どもの教育について

コロナ禍とウクライナ侵略で交流が中断してから6年目を迎えた今も、丘から見える国後島の姿は何も変わらない。ただ、島の様子を想像するだけだった移住当初とは違い、今は脳裏にロシア人の顔

北方四島交流インタビュー1は北方領土隣接地域1市4町在住の四島交流参加者を対象に、6回連載しています。



▲ 自宅でロシア人の子どもと交流する稗田さん(中央)と麗さん(左) (2013年)

## 四島交流 HISTORY

1991 四島交流の枠組みができる

1992 交流開始

1998 四島訪問に学術や文化などの専門家が同行するように

2001 ロシア人の日本語習得事業を開始

2009 稗田さん 羅臼町に移住

2010 対話集会に代わり意見交換会を開始

2013 稗田さん 交流に参加

2016 稗田さん 択捉島を訪問

2020 コロナ禍で交流中断

2022 ロシアによるウクライナ侵略開始

word

## ホームビジット



What's ?

ホームビジットとは、日本人と四島のロシア人が相互に家を訪問し、料理を囲みながら交流すること。滞在中は演奏にあわせて一緒に歌ったり、アルバムを広げて写真を紹介しあうなどして過ごします。

家庭的な雰囲気交流できるのがホームビジットの魅力。住民同士の距離が縮まり、領土問題解決への理解につながりました。

## 四島NEWS

四島で話題のニュースとぶち情報をお届け

## 観光客へのヒグマ被害 四島のガイドに強制労働3年の判決

北方領土択捉島の観光名所ピラ海岸で2024年、観光客がクマに襲われ重傷を負った事故で、同島クリル地区裁判所は必要な安全対策を怠ったとして、事故当時ガイドを勤めた男性（42）に強制労働3年の判決を言い渡した。（参照：2025年10月13日「赤い灯台」）

知っ  
とこ！

## 四島ぶち情報

## 四島でヒグマの目撃情報続出！？

ヒグマの出没情報が相次ぐ北方領土。山林だけでなく人里でも目撃されています。今年8月には択捉島住宅地の横断歩道を渡るクマの姿が交流サイト（SNS）に投稿され、住民の間で話題に。クマが市街地に現れる理由について、クリル自然保護区の専門家らは餌となる魚の減少を指摘しています。

（参照：2025年8月4日、11月17日「ASTV」）

## 北方領土に住む白いヒグマ

北方領土国後島と択捉島では、上半身が白く、下半身が茶色いヒグマの生息が確認されています。北海道本土のヒグマよりも餌にサケを多く食べることが白くなる原因の一つのようです。



\\再開に向け、今こそ知っておきたい//

## 四島交流まめ知識

こんな経験  
ありませんか？

空のボトルは床に置きましょう

「До дна（底まで飲み干せ）！」。ウォッカのグラスを片手に、赤ら顔を浮かべるロシア人。でも不思議なことに、机の上にはボトルが一つもありません。二日酔いの迎え酒にウォッカを飲むほどお酒好きなロシア人。勢いあまって空瓶までも飲み干してしまったのでしょうか…。

ロシアには**空瓶を机の上に置いたままだと金運が逃げる**という迷信があります。そのため、飲み干した瓶は床に置くのが風習。一説には、19世紀のナポレオン戦争の際、パリのレストランで食事をしたコサック隊が、飲んだ酒の量をごまかそうと瓶を机の下に隠したのが始まりとされています。



ぶち

ロシア語  
単語帳

イショー ハチーチェ?  
**Ещё хотите?**  
もっとほしいですか?



▲ロシア人宅で歓迎を受ける日本人  
(2019年 色丹島)

ペチカにある料理は全てお客さんに出しましょう。ペチカとはロシアのオーブンのこと。そんなことわざがあるように、来客時には机いっぱいの料理で歓迎するのがロシア流です。

写真は2019年に日本人が色丹島のロシア人宅を訪れた際の様子。パイやスープのごちそうが食卓に並びました。「<sup>イショー・ハチーチェ</sup>Ещё хотите (もっといかが)?」と聞かれたら、「<sup>ダー</sup>Да (はい)」と遠慮せず応えたい。でも時には「<sup>ナエールシャ</sup>Наелся (お腹いっぱい)」と断る勇気も必要かもしれません。



シトー・イエスチ・フ・ペーチ、フショー・ナ・ストル・メチー  
Что есть в печи, все на стол мечи.

▶ ペチカにあるものは全て机にだしなさい。

## Объявление

四島交流掲示板

### 北方四島交流写真展 イオン釧路店で開催決定!



バスの車窓から日本人の子どもたちに手を差し出すロシア人や、ロシア人と抱き合い涙を流す日本人の少女。1992年に始まった四島交流の歴史を語る写真約20点をイオン釧路店で展示します。

日時

2025年 11月 29日 (土) 9:00~17:00  
30日 (日) 9:00~16:00

場所

イオン釧路店  
1F ATM前 展示スペース  
📍 釧路郡釧路町桂木一丁目1-7

### 特別展示

ソ連の北方領土への侵攻を伝えた「陸揚庫」通信用海底ケーブル



交流写真1万枚のモザイク画

1992年~2019年までの四島交流の写真1万枚を集め一つの写真にした巨大モザイク画を展示!



### 北方四島交流セミナーin札幌「エルプラザ」開催!

参加無料



北海道大学の岩下明裕教授をコーディネーターに元島民3世×ロシア語通訳者のトークセッションを開催。事前申込者から抽選で30名様に北方領土イメージキャラクターのオリジナルマスキングテープをプレゼントします!

日時

2025年 12月 6日 (土) 13:30~15:40

場所

札幌エルプラザ  
4F 大研修室  
📍 札幌市北区北8条西三丁目28

事前申込方法

当日参加も可能ですが、スムーズにご入場いただくため、右記のGoogleフォームにアクセスし、画面の表示に従って、事前のお申込みをお願いします。



▲参加申込用 Google フォーム

○お電話でのお申込み 011-221-3340  
○メールでのお申込み vizanashi01@gmail.com  
(公社) 北方領土復帰期成同盟 北方四島交流北海道推進委員会

事前申込者の中から抽選で30名様にオリジナルマステ (北方領土イメージキャラクター) プレゼント



過去に開催したイベントについては北方領土復帰期成同盟のホームページをご確認ください。



北方同盟 理解促進



Instagram・Facebookでもイベント情報を配信中!  
北方領土やロシアのぶち情報もお届けしています。

Facebook

🔍 北方四島交流



Instagram

🔍 ビザなしinfo

